

長崎での事例 「生活体験学習(総合学習)におけるホームページ作成」

長崎大学教育学部附属小学校
楠木 良浩

昨年の4月にコンピューター室が完成いたしました。そこで、情報教育をスタートするにあたり、小学校の子どもたちに、どんな力を身に付けさせていかなければならないかを私なりに考えてみました。

子どもに身につけさせたい力

- パソコンを学習の道具として活用する力
- 情報を収集する力
- 情報を選択する力
- 情報を発信する力
- 相手の気持ちを考えながら情報交換をする力

まず、パソコンを学習の道具として活用する力です。小学生ですので、どんどん活用するということは無理でしょうが、ソフトを動かしたり、絵を描いたり、文章を書いたりすることまではできるのではないかと思います。

次に、情報を集める力。それから、選択する力。そして、情報を発信する力。ネットワークが完備されてくると、情報交換をすることが多くなってくると思います。その際、特に、相手の気持ちを考える力をもつことが大切だと思います。この点を配慮しないと、相手の顔が見えないだけに、逆にトラブルを起こしてしまうということにもなりかねません。

以上のことをふまえて情報教育を始めたわけですが、今回は、本校が本年度から取り組んでおります「生活体験学習」を中心にお話させていただきます。

「生活体験学習」とは、「創造的思考力」「自己形成心」「社会性」の3つの資質や能力を総合的に拓く学習であると位置づけています。つまり、教科では補えない部分である「生きてはたらく力」を体験的に学習させようというものです。

生活体験学習(総合学習)とは

- 創造的思考力・自己形成心・社会性の資質や能力を総合的に拓く学習
- 年間40時間設定(土曜日の1、2校時)
- 「国際」「環境」「福祉」「情報」の4領域

各学年、年間40時間を使いまして、国際、環境、福祉、情報の4つを窓口とし、土曜日の1校時と2校時に取り組んでおります。私は現在、6年生を担当しておりますので、6年生の生活体験学習について説明いたします。

年間40時間ございますので、いろいろな活動を体験をさせるのもいいのですが、6年生は、一つの活動に浸らせようと考えました。そこで、国際、環境、福祉、情報の各領域を選択性にし、クラスをバラバラにして自分の希望する活動をすることにしました。

6年生の生活体験学習

- 各領域を選択制
- 総時数40時間
 - パソコンの基本操作 8時間
 - 各領域 25時間
 - 領域の交流 7時間

40時間の内訳です。まず、初めてパソコンが入りましたので、子どもたちも初めてパソコンに触れるものがほとんどです。そこで、8時間をパソコンの基本操作の時間ということで、各クラスごとに学習させることにしました。それから、各領域の時間が25時間、各領域の交流の時間を7時間あてることにしました。子どもたちは一つの領域しか学習をいたしませんので、交流の時間で他の領域にも触れさせようと考えたわけです。

私は情報の領域を担当いたしましたので、情報の「ホームページの作成」について話をさせていただきます。

1学期の取り組み

- 活動題決定
- 他校のホームページ研究
- ホームページに入れる項目の話し合い
 - 校舎、学級紹介 先生紹介
 - 学校行事 生活体験学習(総合学習)
 - クラブ紹介 ファッションショー
 - 長崎涙の歴史
- 役割分担決め

1学期の取り組みといたしましては、まず、「学校の楽しい様子を全国の人に知ってもらおう」というテーマを決めました。次に、他の学校のホームページを見ることにしました。今、小学校は、400以上のホームページが立ち上がっているのですが、学習を始めた頃は長崎ではまだ一つも立ち上がっていませんでした。そこで、他の地域のホームページをいくつか見せました。それをもとにして、ホームページにどんな事を入れるかという話し合いをさせました。

校舎と学級を紹介しよう。先生を紹介しよう。学校行事を紹介しよう。それから今取り組んでいる生活体験学習を紹介しよう。クラブを紹介しよう。ファッションショー、これは制服を紹介しようという事です。それから、長崎涙の歴史とありますが、これは原爆の事を調べて紹介しようというものです。この7つに集約することができました。

最後に、それぞれの項目の役割分担を決めました。ここまでの1学期の取り組みです。

子どもの感想

- パソコンの操作が分かった
- 他校のページの工夫が分かった
- 外国の学校のページも見たい
- 自分の情報が見られるから少し恥ずかしい
- 自分の学校をもっと知ろう
- 全国の人を「なるほど」と思わせたい。

1学期を終えて子どもの感想としましては、「パソコンの操作が良くわかった」「他校のページの工夫している所がわかった」「外国の学校のページも見てみたい(1度見せたの

ですが、英語ばかりでよく分からなかったようです)」「自分の情報が見られるから恥ずかしい、全国の人をなるとおぼせるようなページをつくりたい(もうすでに、情報発信という意識が少し出てきたのではないかと思います)」などがあがりました。また、「自分の学校をもっと知ろうと思った」という感想がありました。情報を発信するためには、まず情報を集めないといけないので、もう一度自分の学校を見つめ直すいい機会になったと思います。

2学期の取り組み

- 役割分担の確認
- レイアウト構想
- 取材、情報集め
 - インタビュー アンケート
 - ホームページによる検索
 - デジタルカメラによる写真撮影
- パソコンを使用してのデータ入力
 - 文章 絵

さっそく2学期から作り始めることにしました。

まず、役割分担を確認して、子どもたちに自分の担当のページのレイアウトを構想させました。それから情報集めや取材に取り組んでいったわけです。インタビューを行ったり、自分たちが考えたアンケートをとったり、デジタルカメラによって写真を取り込んだりしました。また、インターネットで資料を集める子どももいました。

取材したものは、パソコンを使用してデータの入力を行いました。ワープロで文章を書いたり、お絵かきソフトを使って絵を描いたりしました。実際のホームページの作成は教師が行いました。

子どもの感想

- 他校の工夫をもっと取り入れたい
- もっと取材をしなければわしくならない
- レイアウトを工夫すると、とても見やすくなる
- 自分でかいたものがホームページにのるのはうれしい

2学期の子どもたちの感想としては、「他校の工夫をもっと採り入れたい」もっといいものを作ろうという意識、それから「もっと取材としなければ詳しくならない」「レイアウトを工夫するととても見やすくなるんだな」「自分の書いたものがホームページに載るといふのはとてもうれしい」というような感想が出てきました。

3学期の取り組み

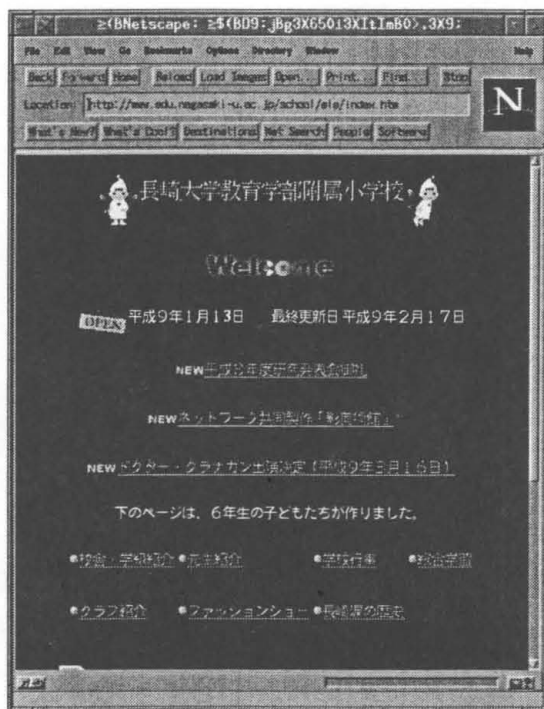
- 完成したホームページの確認
- 担当ページの修正
- 寄せられた感想をもとに修正、新規項目挿入
- ホームページ更新

3学期の取り組みですが、現段階では、完成したホームページの確認と自分なりの修正を行っています。今後、全国から寄せられた感想をもとに修正したり、新しい項目を入れたりしたいと考えています。最後に、ホームページを更新して、この1年間の取り組みを終了する予定です。

実は、2週間後に本校の研究発表会が迫っております。その際、情報の学習も公開いたします。「寄せられた感想をもとに、自分の担当ページを修正する」という授業です。子どもたちは、自分の担当ページが完成し、満足しています。そのこどもたちに、全国から寄せられたメールを紹介します。すると、子どもたちは、今度は作り手から見る側に立場を変えることになります。そこで、見る立場に立って、自分のページを修正していこうと

いう意欲を持たせたいと思っております。指導案を載せておりますので、もしよろしければ来ていただきたいと思います。

それでは、子どもたちがつくったページを実際に見ていただきたいと思います。



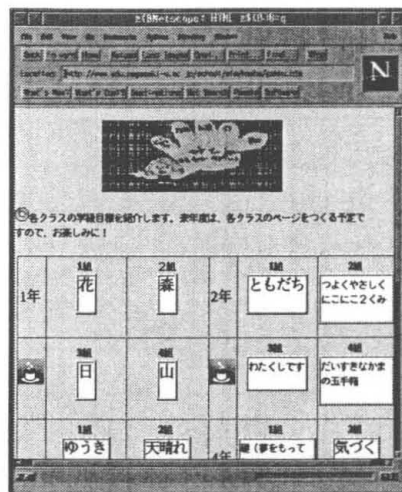
附属小学校ホームページ

<http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/school/ele/index.htm>

これがホームページで、下のそ7つの項目が、子どもたちが作成したものです。



校舎・学級紹介のページ



学級紹介のページ

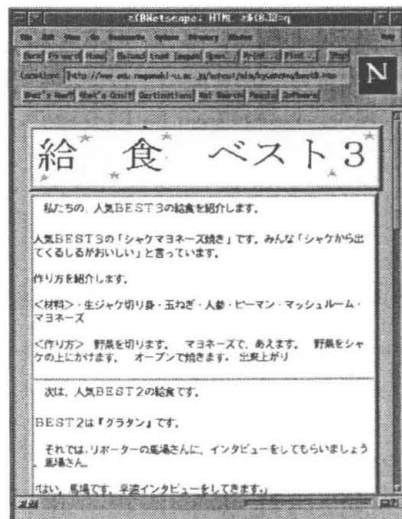
校舎・学級紹介です。学級紹介は、今はこのように学級目標が載せてあるだけですが、将来、各学級のページにリンクさせて仕上げていきたいと考えています。

(図書館のページ)

また、図書館が新しくなりましたので、その図書館の紹介をしているページです。



給食紹介のページ



給食ベスト3のページ

給食室の紹介をしているページです。これは、縦書きでちょっと見にくいのですが、あえてこうしたいと子どもが言いましたので、そのまま縦書きにしました。子どもの発想の

おもしろさを感じます。「人とは給食にはじまり給食で終る」といった文章で書いてありますが、これらの文章から他のページへととんでいきます。

(給食ベスト3のページ)

給食ベスト3というページです。アンケートをとってベスト3を決めたようですが、どうも自分の好みが入っているようです。自分がインタビュアーと答える人の両方になって書いています。また、コンピュータ室とその他の部屋のページもつくってあります。

(先生紹介のページ)

先生紹介のページです。このイラストも全て子どもたちが作ったものです。校長先生のページなどは、子どもたちが実際に聞きにいった仕入れた情報です。各学年の先生たちには、「自己評価」「もし魔法が使えたらどうするか」「自分を動物に例えると何か」「先生からの一言」という項目を子どもたちが考えてアンケートをとり、作り上げたものです。

(校内行事のページ)

学校行事のページです。校内行事ということで、運動会の様子や校内で行なわれる行事を紹介したものです。

(ふれ合いのページ(子どもたちの絵が入っているページ))

1年生と6年生はパートナーを組み、ふれ合いを行っていますので、それを紹介しているページです。その様子を絵に表しています。

(旅行のページ)

各学年の旅行を紹介したページです。絵や感想を入れたりして楽しく仕上げています。

(総合学習のページ(国際のページ))

生活体験学習(総合学習)のページです。国際では、外国の人に来ていただいてふれ合いをしたり、外国語を学習したりしています。インタビューをして、多かった感想をあげています。福祉は、点字を一所懸命頑張っておりまして、点字の本を作って盲学校に送るという目標を決めて取り組んでいます。環境は、生ゴミから肥料を作り、その肥料で、また野菜をつくっています。これが先ほど述べました6年生の生活体験学習の取り組みです。



ふれ合いのページ

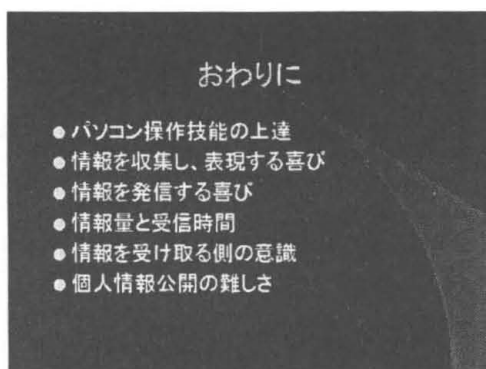


ファッションショーのページ

ファッションショーのページです。実際に写真を撮ったのが秋から冬にかけてでしたので、水着などの写真はありません。このような写真は悪用されかねないので、なるべく絵を使って紹介したいと考えています。

(長崎涙の歴史のページ)

長崎涙の歴史のページです。祖父や祖母、両親に話を聞き、自分の考えも入れながら作り上げました。また、原爆遺跡の写真も、実際に子どもたちが撮影に行って解説を入れたものです。



- パソコン操作技能の上達
- 情報を収集し、表現する喜び
- 情報を発信する喜び
- 情報量と受信時間
- 情報を受け取る側の意識
- 個人情報公開の難しさ

最後になりましたが、子どもたちがこの学習で学んだ成果をあげてみます。一つ目は、パソコンの操作技能がとても上達したということです。まだパソコンに触れてから1年も経っていないのですが、絵を描く技能は私を遥かに越えています。また文章の入力も、最

初はキーの配列にとまどってなかなか作業が進まなかったのですが、今ではスラスラと打てる子が増えました。そして、一番の収穫は、子どもたちが、情報を集めて表現する喜び、情報を発信する楽しさを感じたことではないかと思います。

次に、問題点です。子どもたちはレイアウトの段階では、絵や写真を大きくして派手なページをつくりたいと考えます。しかし、子どもの考える通りに作りますと、情報量が大きくなりすぎて、受けとる側が非常に困るということになってしまいます。また、情報を作る側と受けとる側では意識が違ってきます。見る人はどんな情報を欲しがっているのかを常に意識してつくらせたいと思います。最後に、個人情報を公開する問題です。今回は私なりに基準を設け、なるべく子どものアップの写真は載せない、写真を載せた時には名前は伏せるというような配慮をいたしました。個人情報の公開については、問題が起こっている地域もあると聞きますので、今後も慎重に考えていきたいと思います。

ご静聴、ありがとうございました。